

- ② 東京と私 ルドナヤプリスタニの天気 泉 麻人

経営を物語る

- ④ 複眼思考経営で、日本の知的財産や技術を守る

特許業務法人浅村特許事務所 所長 浅村昌弘氏

きらぼし経済レポート

- ⑨ 6月の都内経済状況 きらぼし銀行 連携推進部

きらぼし特別対談

- ⑩ 日本経済の明るい未来、かなめは中小企業のイノベーション
入山章栄×高橋ゆき

きらぼしコンサルティング主催

- ⑫ 里崎智也氏講演会
野球から学んだ、人生のみちしるべ

TOKYO NOW

最新技術教室

- ⑭ 建設DX② 家入龍太

本田宗一郎のDNA

- ⑯ イノベーションの極意⑤ 小林三郎

経営実務+教育

海外ビジネスレポート

- ⑱ ASEANにおける不正・内部統制③ 遠藤容正
ベトナム駐在だより③ 岩田玲士

- ⑳ 産学連携 東京から世界の未来を拓く 東京都立大学

研究紹介

二酸化炭素をリサイクル・資源化する
エコな触媒を開発する 山添誠司

特許紹介

- ・臓器保存装置
- ・マイクロ波レーダーを用いた
睡眠段階・ストレス度推定システム

- ㉒ きらぼし健康手帖 大腸癌 阿美克典

- ㉔ 経営者、歴史に学ぶ“三井”を再生させた明治の織田信長
中上川彦次郎
加来耕三

- ㉗ 趣味研鑽 ボードゲーム② 丸田康司

- ㉙ 東京圏のミュージアム 町田市国際版画美術館

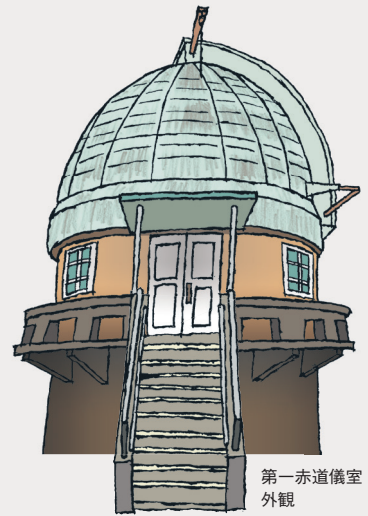
- ㉚ きらぼしシネマサロン 前田有一

きらぼし

題字 白石雪妃(書家)

表紙

国立天文台三鷹キャンパス
第一赤道儀室



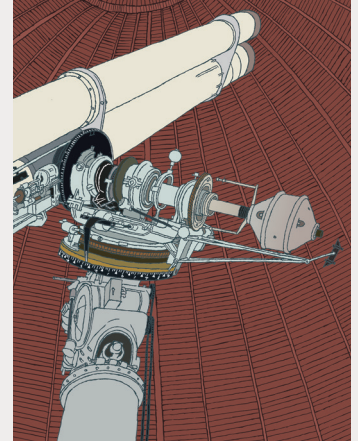
第一赤道儀室
外観

1921年建設の第一赤道儀室は、国立天文台三鷹キャンパスで最も古い観測用建物。ドーム内にある口径20センチメートルの望遠鏡はドイツのツァイス製で、1938年から1998年の61年間、太陽黒点のスケッチ観測に活躍した。

現在、随時太陽観察会(一般公開)を開催しており、晴れていれば、太陽表面の黒点を観察できます。

設計:東京帝国大学宮績課、施工:西浦長大夫。2002年2月に国の登録有形文化財。

大赤道儀室(天文台歴史館)



同キャンパスに内にある大赤道儀室では、主に星の位置観測が行われていました。

1998年に観測からは引退し、2001年春から天文・天体観測の歴史について学べる天文台歴史館として新たにオープンしました。

* 国立天文台三鷹キャンパスは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、施設公開、定例公開、イベント等の一部を中止しています。再開については、ウェブサイトやSNSにて案内があります。